

将棋には7つの大きなタイトルがあります。中でも伝統の名人戦は、第72期七番勝負が4月8日に始まり、5月21日までに羽生善治三冠が4連勝で森内俊之名人を破って名人位を奪還しました。この名人戦は朝日新聞社と毎日新聞社が主催です。他の6つのタイトル戦も、以下のように新聞社や通信社が主催しています。竜王＝読売新聞社、王位＝北海道新聞社・中日新聞社(中日新聞・東京新聞)・西日本新聞社・神戸新聞社・徳島新聞社、王座＝日本経済新聞社、棋王＝共同通信社、王将＝スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社、棋聖＝産経新聞社。

全国紙をはじめ、ほとんどの新聞には将棋と囲碁の欄があり、毎日のように棋譜(対局の手順を記号を使って示した図)などが掲載されています。棋譜や対局図では、玉将・王将は「玉」、飛車は「飛」、角行は「角」、金将は「金」、銀将は「銀」、桂馬は「桂」、香車は「香」、歩兵は「歩」で表され、飛車が成ると「竜」(＝竜王)、角行が成ると「馬」(＝竜馬)になります。この将棋欄の記事も次のような使い方ができます。

【問い】対局図の駒の略称である漢字を使って、熟語を作ってみよう。

【答例】五十歩百歩 香典 桂月 銀河 金科玉条 角帯 馬耳東風 飛切 画竜点睛
玉石混淆 金枝玉葉 など

【問い】将棋用語が起源で一般化したことばを挙げてみよう。意味も調べよう。

【答例】王手 成金 持ち駒 角番 将棋倒し 駒不足 後手 など

なお、新聞に掲載された棋譜や対局図などは、勝手にコピーや印刷はできませんので注意してください。

(鈴木伸男・全国新聞教育研究協議会顧問)